

会社 / 投資家情報

会社概要

(平成30年9月30日現在)

- 商号 アリアケジャパン株式会社 (ARIAKE JAPAN Co., Ltd.)
- 代表者 代表取締役社長 田川 智樹
代表取締役副社長 岩城 勝利
- 創業 昭和41年6月2日
- 資本金 7,095,096千円
- 従業員数 522名
- 事業内容 1 天然調味料の製造、加工及び販売
2 農畜産物の生産、加工、輸出入及び販売
3 水産物の加工、輸出入及び販売
4 医薬部外品の製造、輸出入及び販売
5 飲食店の経営
6 前各号に関連する技術指導業務
7 前各号に附帯する一切の事業
- 取引銀行 株式会社三井住友銀行
株式会社三菱UFJ銀行
株式会社十八銀行
- 関連会社
 - ARIAKE U.S.A., Inc.
 - 青島有明食品有限公司
 - 台湾有明食品股份有限公司
 - F.P. Natural Ingredients S.A.S.
 - Ariake Europe N.V.
 - Henningsen Nederland B.V.
 - PT. Ariake Europe Indonesia
 - 株式会社ディア・スープ
 - 株式会社エー・シー・シー
 - アリアケファーム株式会社

所在地

- 本社 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 三丁目2番17号 電話 03-3791-3301(代表)
- 九州工場
 - ・第1工場
 - ・第2工場
 - ・中央研究所R&Dセンター
 - ・パックセンター
- 名古屋支店
- 大阪支店
- 福岡支店
- 仙台支店
- 札幌営業所



本社ビル

株式の状況

(平成30年9月30日現在)

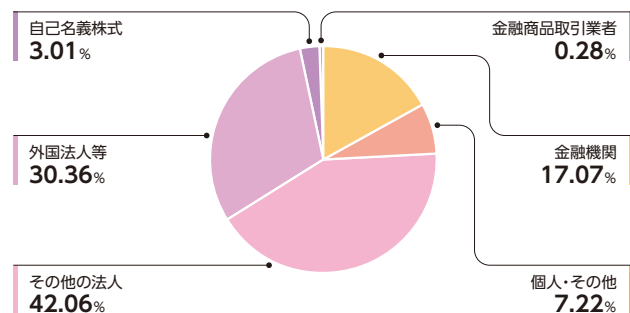
- 発行可能株式総数.....130,000,000株
- 発行済株式の総数.....32,808,683株
- 株主数.....8,249名
- 上場証券取引所.....東京
- 証券コード番号.....2815

大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ジャパンフードビジネス株式会社	10,608	33.34
公益財団法人岡田甲子男記念奨学財団	2,196	6.90
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,929	6.06
JPMC OPPENHEIMER JASDEC LENDING ACCOUNT	1,454	4.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,309	4.12
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,283	4.03
BBH FOR MATTHEWS JAPAN FUND	879	2.76
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	790	2.49
株式会社王将フードサービス	784	2.46
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE MONDRIAN INTERNATIONAL SMALL CAP EQUITY FUND, L.P.	436	1.37

※1.当社は自己株式を987千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2.持株数は、千株未満を切捨てて表示しております。

所有者別株式数構成比率



株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 期末配当基準日 3月31日
- 第2四半期配当基準日 9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話: 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 同連絡先
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 公告方法 公告URL <http://www.ariakejapan.com/>

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



第41期 第2四半期報告書
平成30年4月1日 >>> 平成30年9月30日

IR Report

自然がおいしい。

<http://www.ariakejapan.com/>



証券コード番号: 2815

株主の皆様へ

独自の強みをベースに、海外での生産能力の増強、活躍の領域を拡大し、企業価値の持続的な向上を目指します。

当第2四半期連結累計期間(平成30年4月1日～平成30年9月30日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調が続く一方で、消費者の節約志向は依然根強く、先行きの不透明感を払拭できないまま推移しました。

食品業界においては、一部堅調に推移したものの、価格競争等を背景に、経営環境は厳しい状況のまま推移しました。

このような状況下で、当社グループは「世界8極体制」を構築しているグローバルエンタープライズとして、また、天然調味料におけるリーディングカンパニーとして顧客ニーズを先取りし、全世界の既存事業の拡充と、新規事業の積極的な展開を図りつつ、「食の安全」「健康」「おいしさ」を追求してきました。

その結果、当第2四半期連結累計期間においても、連結、単体ともに、売上高、利益とも、過去最高を更新しました。特に、徹底したコスト管理により、各連結の利益項目の増加率は、アジアの売上伸長による連結売上高の増加率を上回る結果となりました。

当社の強みは、畜産系天然調味料市場を早期に開拓しただけでなく、高度な製品の確実な大量生産能力、高レベルな品質・衛生管理、世界8極における原料調達と生産の拠点の確立という特徴を持つビジネスモデルに起因します。それらがあらゆる顧客ニーズに対応できる圧倒的な競争力に結実しています。

事業環境については、今後も、国内では、厨房の人手不足や、食の個別化などで、外食・中食・加工食品業界からの需要増、海外では、調理工程の効率化ニーズだけでなく、健康志向の高まりによる安全な天然調味料への需要の増加が期待でき、強みを一層発揮できる状況にあると捉えています。

そのため、成長戦略としては海外での生産能力強化に注力していきます。本年8月にはインドネシア工場が操業を開始し、「世界8極体制」が本格稼働となりました。年内にも日本への輸出が始まります。来年度はインドネシア国内販売にも注力し、将来的にはアセアン市場を狙っていきます。

当社グループは、中長期的に連結売上高1,000億円を目処としながら、天然調味料の製造だけでなく加工食品の製造にも進出して活躍の領域を拡大していきます。原料調達力、生産能力の増強、品質・衛生管理の強化・徹底、安心・安全な食の提供に努め、企業価値の持続的な向上を目指していきます。

株主の皆様に対しましては、日頃のご支援ご鞭撻に感謝するとともに、今後のさらなるご愛顧を祈念して、当第2四半期末の1株当たりの配当金を当初の予定どおり20円とさせていただきます。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



特別相談役
岡田 甲子男

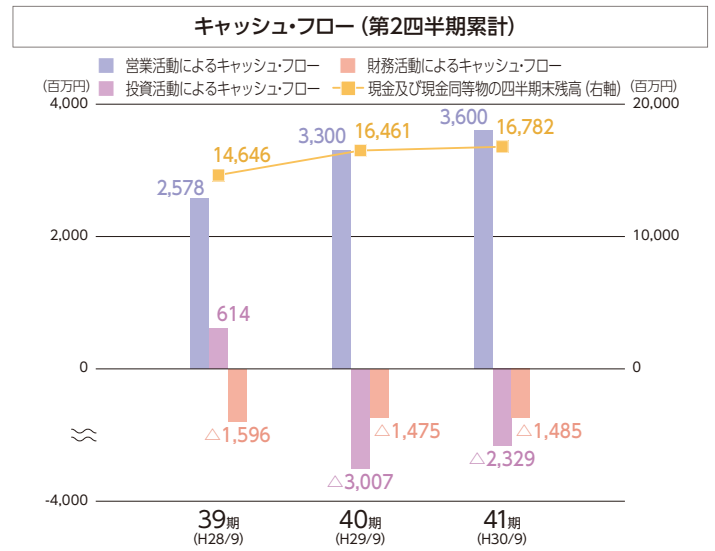
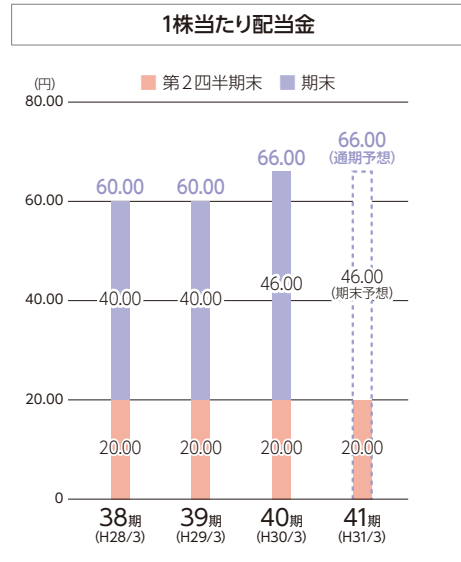
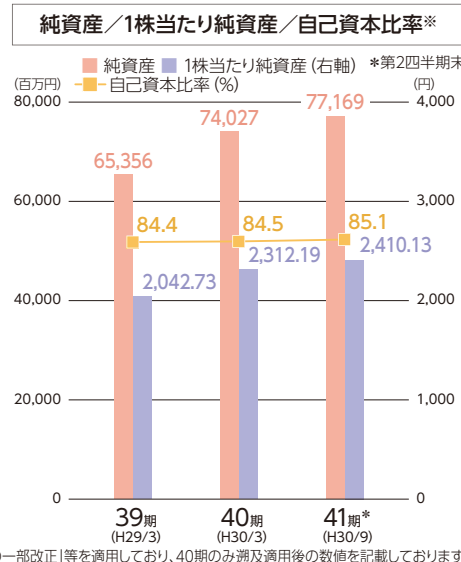
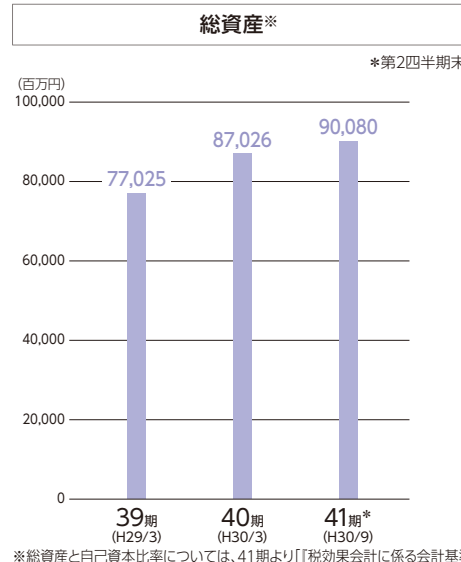
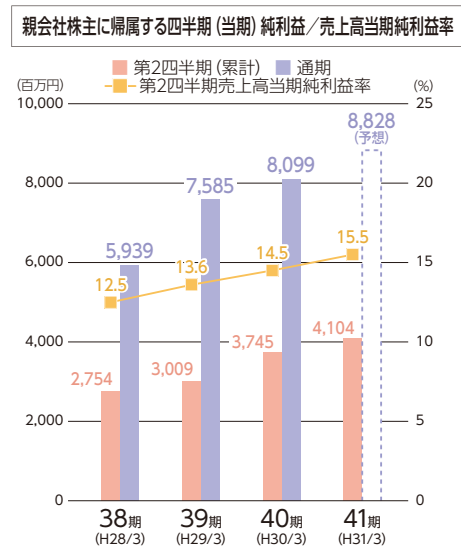
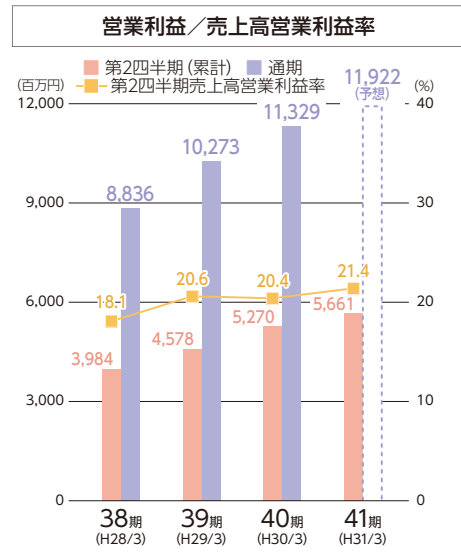
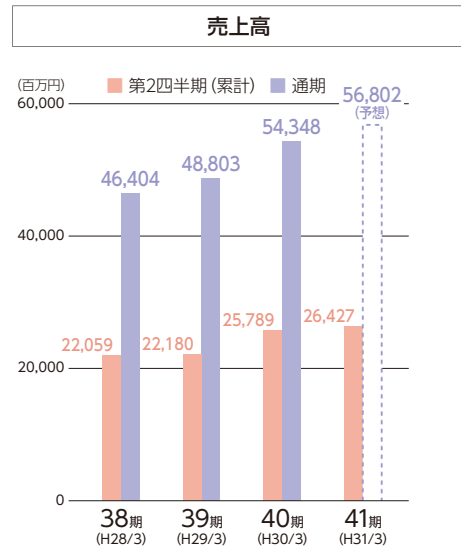


代表取締役社長
田川 智樹

営業の概況（連結）

連結決算のポイント

当第2四半期連結累計期間も、売上高、利益ともに、過去最高を更新しました。通期も増収増益を見込んでいます。



連結売上高は、顧客第一の姿勢を貫いて拡販に努めたことなどから、特にアジアの売上が伸び、前年同期比638百万円(2.5%)増の26,427百万円となりました。

連結営業利益は、徹底的なコスト管理が貢献し、前年同期比390百万円(7.4%)増の5,661百万円となりました。

連結経常利益は、前年同期比520百万円(9.5%)増の5,991百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比358百万円(9.6%)増の4,104百万円となりました。

いずれも過去最高を更新しました。

連結財務諸表（要約版）

四半期連結貸借対照表*

(単位：百万円)

	前第2四半期末 平成29年9月30日現在	当第2四半期末 平成30年9月30日現在	前期末 平成30年3月31日現在
資産の部			
流動資産	42,276	49,996	48,605
固定資産	37,776	40,084	38,421
有形固定資産	22,839	24,222	23,864
無形固定資産	741	629	719
投資その他の資産	14,195	15,232	13,837
資産合計	80,052	90,080	87,026
負債の部			
流動負債	7,903	8,432	9,134
固定負債	3,588	4,478	3,864
負債合計	11,491	12,911	12,999
純資産の部			
株主資本	64,387	70,737	68,102
その他の包括利益累計額	3,796	5,956	5,476
非支配株主持分	377	475	449
純資産合計	68,561	77,169	74,027
負債純資産合計	80,052	90,080	87,026

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てによって表示しています。

*当第1四半期連結会計期間の期首より「税効果会計に係る会計基準」の一部改正等を適用しており、前期末、前第2四半期末に、遡及適用後の数値を記載しております。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 自平成29年4月1日 至平成29年9月30日	当第2四半期 自平成30年4月1日 至平成30年9月30日	前期 自平成29年4月1日 至平成30年3月31日
売上高	25,789	26,427	54,348
売上原価	16,864	17,065	35,510
売上総利益	8,925	9,362	18,837
販売費及び一般管理費	3,654	3,701	7,508
営業利益	5,270	5,661	11,329
営業外収益	229	345	447
営業外費用	29	15	206
経常利益	5,471	5,991	11,570
特別利益	179	-	179
特別損失	6	-	6
税金等調整前 四半期(当期)純利益	5,644	5,991	11,743
法人税等	1,859	1,835	3,549
四半期(当期)純利益	3,784	4,155	8,194
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	39	51	94
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	3,745	4,104	8,099

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てによって表示しています。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 自平成29年4月1日 至平成29年9月30日	当第2四半期 自平成30年4月1日 至平成30年9月30日	前期 自平成29年4月1日 至平成30年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	3,300	3,600	10,173
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,007	△2,329	△8,448
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,475	△1,485	△2,132
現金及び現金同等物に 係る換算差額	96	△318	176
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△1,086	△534	△231
現金及び現金同等物の 期首残高	17,547	17,316	17,547
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	16,461	16,782	17,316

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てによって表示しています。

トピック

インドネシア工場が操業開始：
日本向けの原料供給基地、アセアン市場への進出拠点として拡充



インドネシア工場外観



インドネシア工場内部

東南アジア初の生産拠点であるインドネシア工場が本年8月に操業開始し、「世界8極体制」が本格稼働となりました。

インドネシア工場は、日本向けの原料供給基地として、エビを主原料とした調味料などを製造します。

また、多様な食文化のなかで経済成長が期待されるインドネシアのほか、タイやマレーシアなど東南アジア諸国連合(アセアン)市場への進出拠点としての機能も拡充していきます。

工場内には現地従業員のためにイスラム教の祈りの部屋を用意しています。現地の法令の遵守や習慣の尊重に取り組み、一層の現地化を推進しています。

ホームページでもさまざまな情報をご覧ください。
<http://www.ariakejapan.com/> または

ARIAKE 検索

でご検索ください。